

第 47 回高崎ユネスコ国際児童画・作文合同表彰式

令和 2 年 2 月 23 日（日）9 時 30 分、高崎市文化会館大ホールにて、第 47 回高崎ユネスコ国際児童画・作文合同表彰式が挙行されました。



新型コロナウイルスの感染者が日本国内で発生し始めた時期であり、ホールの入り口で参加児童・生徒と保護者の手をアルコール消毒するなど、感染予防対策に万全を期しての開催となりました。

表彰式は、高崎少年少女合唱団による「ユネスコの歌」斉唱により幕を開けました。高崎ユネスコ協会会長あいさつ、来賓の方々からの祝辞、来賓紹介と続き、表彰に移りました。練習なしのぶっつけ本番の表彰式でしたが、皆整然かつ堂々と表彰状を受け取っていて、さすがだと感心しました。



続いて、作文で高崎ユネスコ協会会長賞を受賞した、高崎市立西小学校 5 年の寺田雪華（ゆきか）さんと、高崎市立佐野中学校 3 年の福地絢音（あやね）さんによる作文の朗読がありました。さらに高崎ユネスコ協会作文部長である、高崎市立佐野中学校の品田京子先生による作文の講評がありました。



続いて児童画の講評を児童画審査委員長である、高崎市立片岡中学校の中澤輝幸先生が行いました。舞台上には、高崎ユネスコ協会会長賞を受賞した、高崎市立南小学校 3 年の成田大芽（たいが）さんと、高崎市立長野郷中学校 3 年の高橋瑠里（るり）さんの受賞作品が飾られていました。最後に 2 人の紹介がありました。



表彰式の最後に世界寺子屋運動への協力を求め、書きそんじハガキや未使用切手の回収への協力を求めました。

新型コロナウイルス対策も合わせて、短時間での開催を目指した表彰式でした。いくつかあった課題を反省し、次年度の開催への教訓としていく所存です。合同表彰式の開催にご協力をいただきました多くの方々にこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。